

St.Mary's College Campus Letter

MADONNA

Vol.

28

2025.3

Special feature

70th 50th

開設70周年記念

社会医療法人 聖の聖母会
聖マリア病院

看護教育50周年記念

学校法人 聖マリア学院
聖マリア学院大学

看護教育50周年 1973-2023

信頼、伝統、歴史のその先へ...

CAMPUS TOPICS

- 看護専門職へ、大学生活スタート
- 厳かに、誓いを新たに 他

international exchange

- 国際交流活動
～多様な価値観、異文化理解のために～

information

- 寄付金の御礼【優遇税制のお知らせ】
- 学校法人聖マリア学院 令和5年度決算



70th 看護教育50周年記念

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

学校法人 聖マリア学院
聖マリア学院大学

看護教育50周年 1973-2023

信頼、伝統、歴史のその先へ...



聖マリア学院大学は、これまで、これからも「カトリックの愛の精神」に基づく教育理念を継承しつつ、地域と時代の要請に応え得る看護師、保健師、助産師の育成に努めて参ります。

1953年(昭和28年)、聖マリア病院が開設され、その後、1973年(昭和48年)に聖マリア高等看護学院が開校、以来、現在の聖マリア学院大学に至る改組、変遷を経て、本学は看護教育50周年の節目を迎えた(詳細は本誌前号にて既報)。

50年間に亘り輩出してきた卒業生の多くは、現在、国内外問わずそれぞれの地域社会で保健、医療、福祉を支える看護専門職者として活躍中です。

カトリック理念を継承し、次の50年へ

聖マリア学院大学は、看護教育50周年を迎えました

記念誌発刊

「聖マリア病院のあゆみ 70TH Anniversary」
「聖マリア学院 看護教育の50年」
「Our St. Mary's Heritage(フォトブック)」

聖マリア病院70年の歴史と、本学の看護教育50年の歩みを振り返り、各時代の写真と共に、その軌跡をたどりつつ、未来へ向けた想いを新たに、記念冊子として取り纏め、伝統に裏付けされた聖マリアブランドを広く周知することとしています。また、創設者・井手一郎先生の設立理念に思いを馳せながら、構内各所に設置されている聖母マリア像に纏わる逸話等を載せたフォトブックを刊行、順次、在学生へも配布し、教育理念の涵養に努めています。



生命倫理についての新しい指針

翻訳・出版

バチカンの教皇庁保健従事者評議会による「NUOVA CARTA DEGLI OPERATORI SANITARI」は、イエス・キリストの教えに基づき医療分野の倫理的諸問題について、医療従事者がどう対処すべきかを示したガイドラインです。本学では聖マリア病院との協働事業として、この倫理指針を国内のカトリックの医療機関に普及すべく、周年記念事業の一環として「生命倫理についての新しい指針 ～いのちと健康に奉仕するすべての人に向けて～」と題し翻訳・出版しました。

西鉄電車「聖マリア病院前」駅、誕生

2024年3月

本学の最寄り駅、西鉄電車・天神大牟田線「試験場前」の駅名が、「聖マリア病院前」に改称されました。旧「試験場前」駅は昭和初期の1933年、九州鉄道（西鉄の前身）の時代に、開設当時、近くにあった久留米工業試験場にちなんで命名されたそうです。その試験場自体は1978年に統合、廃止されましたが、その後40年

以上、駅名として残されていました。今回、聖マリア病院の名前が駅名となったことは、久留米市を中心とした筑後・佐賀の地域医療を担う拠点病院の一つとして公共性・公益性の高い医療機関であることが、その理由の一つです。新たな駅名「聖マリア病院前」も、地域とともにその歴史を刻んでいくこととなるでしょう。



記念事業

70th
開設70周年記念
聖マリア病院

看護教育50周年
1973-2023
信頼、伝統、歴史のその先へ...

50th
看護教育50周年記念
聖マリア学院大学



聖マリア研究センター 竣工（聖マリア病院）

2024年3月

時代と共に疾病構造が変化し、医療需要も複雑かつ高度化しています。社会背景を踏まえ、臨床の問題を研究で解決する文化の醸成、それを建物で竣工しました。

実践する人材の育成を目指して、「教育・研究部門の充実」の拠点「聖マリア研究センター」を組織化、その建物が竣工しました。



夏のオープンキャンパス開催

ご来場ありがとうございます

高校生、並びにそのご家族を対象に本学の学修環境を実際に体験いただく機会として、オープンキャンパスを開催しています。当日は、本学の看護学生が中心となって大学での学びや、隣接の聖マリア病院での実習のこと、また、学生生活全般に亘る個別相談会など、キャンパスライフへの理解を深めていただけるよう、実習病院の施設見学を含め、様々な催事企画を準備し、多数の方々にご参加いただきました。日程不都合でご参加できなかった方等におかれては、大学見学の個別ご案内も対応いたしますので、どうぞ、ご連絡下さい。

聖マリア合同慰霊祭

亡くなられた方々へ祈りを捧げます

カトリック教会では、伝統的に11月を「死者の月」として、亡くなられた方々を思い、安息を祈る月とされています。11月15日、聖マリア病院内の教会、雪の聖母聖堂において合同慰霊祭が執り行われ、聖マリア病院をはじめ関係施設で亡くなられた方々を偲び、また医学の進歩のためにご遺体を献体された方々に感謝の念を捧げました。昨年度までは新型コロナの影響で縮小開催としていましたが、ご遺族に参列いただき、病院職員、関係者、また聖歌隊とともに、祈りを捧げました。



学院祭

“Re:) START”に思いを込めて

11月9日、聖マリア学院祭が開催されました。コロナ禍での縮小開催期を経て、本年度は5年ぶりに通常開催となり、凝った企画アリ、行列のできる模擬店アリで、エンディングも大盛況で、あまりの大騒ぎに、閉会式会場内の壁がひび割れる事態に――、とまではなかったのですが、良かった…。

学生の皆さん、ご来場いただいた地域の皆様、ありがとうございました。特に、実行委員の学生の皆さん、長い月日をかけての準備から当日の運営、後片付け、諸々、本当にお疲れ様でした。色々の気苦労や思い通りに進まない事、等々、日頃の授業では体験できない学びを得ることができたのでは、と、そうであってほしい、と願いつつ。



CAMPUS TOPICS

召命のつどい

厳かに、誓いを新たに

令和6年10月12日、看護学部1年生が、「召命のつどい」を迎えました。入学から半年、講義や技術演習が続く日々、聖マリア病院内の教会「雪の聖母聖堂」において、厳粛な雰囲気の中、看護職への誓いを新たに、祈りの時間を共有することができました。以前はキャッピングセレモニーとして「祝帽式(戴帽式)」を開催していましたが、看護師のキャップが廃止され、以後、カトリック理念に基づく催事として今に至っています。



召命のつどいとは…
私たち一人ひとりが神から与えられたいのちを喜び合い、自らの内に秘められた使命に目覚め、世界の人々のために働く決意を新たにするとともに神のお導きを願います。



入学式

看護専門職へ、大学生活スタート

令和6年4月4日、本学体育館において看護学部、大学院看護学研究科、並びに専攻科助産学専攻の入学式が挙行されました。本学では昭和48年(1973年)の看護専門学校開設以来、看護教育50周年の節目を迎えたところ、長い歴史において先輩が紡いできた「カトリックの愛の精神」を継承しつつ、51年目の歴史を未来へ繋げる新入生の皆さんを教職員一同、歓迎し、これからの学生生活を支援して参ります。入学おめでとうございます。



授業風景(学内演習)



international exchange 国際交流活動

多様な価値観、
異文化理解のために



1 第30回ASEACCU国際会議<オーストラリア>

東南アジア・東アジアカトリック大学連盟(ASEACCU)の2024年度国際会議が、オーストラリア・カトリック大学(ACU)で開催され、オーストラリア、インドネシア、カンボジア、ベトナム、フィリピン、韓国、台湾、東ティモール、マカオ、そして日本から、カトリック大学の学生・教職員が集まり、講演会やワークショップ等で交流を深めました。

2 グローバルスタディーズコース<フィリピン>

本学の姉妹校、カノッサカレッジ(フィリピン)への語学留学を主に、2週間に亘る滞在期間中、まさに英語漬けの生活を送りながら、現地の保健事情、医療制度、また歴史や文化に触れ、看護学生との交流を含め、充実した研修プログラムを消化していきます。

3 韓国の姉妹校より看護実習生が来日

本学では、韓国の各カトリック大学と連携協定に基づき、定期的に看護学生の受入れを行っています。日本と韓国、両国間の医療制度比較や学生間交流を介して、異文化理解を深めています。

4 国際看護コース「フィールド・スタディ(海外実習)」

本年度の海外実習は、8月4日～16日、ラオスとタイを訪問しました。ラオスでは、WHO(世界保健機関)やJICA(国際協力機構)、国立病院への訪問見学、また、聖マリア病院関連の国際協力機関ISAPH(アイサップ)活動への帯同、タイでは、姉妹大学であるSaint Louis Collegeの学生との交流を含め、タイ国内の保健医療事情を学び、また、タイ赤十字社の他、現地病院見学においては、HIV/AIDSに関する現況、並びにメディカルツーリズムの受入れ等についての学修を行いました。

5 JICA青年研修事業

JICA(独立行政法人 国際協力機構)よりの受託事業、母子保健分野の青年研修が11/6～11/20の2週間、本学にて開講されました。中南米5カ国(ボリビア、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ)より9名の研修員が来日、各国の将来を担う医師や助産師、行政官等が日本の保健医療福祉についての研修プログラムに臨みました。期間中、本学の学院祭でのプレゼン等、学生との交流も行われました。

本学における特色ある教育研究活動のひとつである国際協力については、聖マリア病院の開設初期より、保健医療福祉分野に特化した取り組みを継続しています。コロナ禍での一時中断を経て徐々に平常化しつつあり、異文化理解をテーマに多彩な交流活動を実施中です。また、国際看護コース(選択制)、グローバルスタディーズコース(同)を開講し、世界規模、特に開発途上国における医療の現状や課題、取組みを学び、将来、国内外で活躍できる人材の育成に努めています。



クリスマスのつどい

主イエス・キリストの降誕を祝い

聖マリア病院の開設から70年、その当時から続くクリスマスのつどいは、本学にとって、建学の精神「カトリックの愛の精神」に基づく教育理念を継承する催しのひとつです。今年も12月25日、キャンドルの明かりの中、聖歌隊となった学生が静かな歌声とともに、手作りのクリスマスカードを入院患者さん、お一人おひとりに渡し、見舞いました。世界中、全ての人々に平和と幸福が訪れますように、願いながら。



主な就職先

- 聖マリア病院、聖マリアヘルスケアセンター
- 九州大学病院
- 佐賀大学医学部附属病院
- 九州がんセンター
- 久留米大学病院
- 福岡市立こども病院
- 九州中央病院
- 熊本大学病院

主な進学先

- 聖マリア学院大学専攻科助産学専攻
- 九州看護福祉大学専攻科助産学専攻



教育懇談会

ご家族と教育情報の共有

本学では、在学生の修学状況等について定期的にご家族(保護者)への情報提供、共有に努めておりますところ、その一環として、看護学部学生のご家族を対象に毎年度、「教育懇談会」を開催しております。本年度も9月28日に開催し、全体説明として教育課程の内容や学生支援についての報告と、個別相談として、ご家族個々に担当教員との懇談をさせていただきました。今後も引き続き、ご家族との連携をとりながら教育活動・学生支援に取り組むこととしておりますことから、ご家族の皆様におかれましては、日頃より色々のご意見や考えを、どうぞお聞かせ下さい。



令和6年度 卒業式・修了式

=コロナ禍を乗り越え、未来へ=

令和7年3月1日、本学体育館において看護学部、及び大学院看護学研究科の学位授与式、並びに専攻科助産学専攻の修了式が執り行われました。コロナ禍を経ての学生生活を終え、学び舎を巣立つ学生の皆さんは、それぞれの思いを胸に、看護専門職者としての新たな一歩を踏み出しました。教職員一同、4月からの皆さんのご活躍を応援しつつ、またいつか母校を訪れたくなった時には、いつでも、どんな時でも、皆さんの味方となって、笑顔でお待ちしています。ご卒業、おめでとうございます。



学校法人聖マリア学院 令和5年度決算

法令に基づき、大学等の設置者である学校法人は、

当該事業年度における決算関係書類及び事業報告書を作成し、これを広く公開することが求められています。

本学においては、理事会・評議員会での承認を経て、財務状況並びに事業報告に関する情報公開を、

順次、ホームページに掲載することとしております。本誌では、誌面の都合上、財務状況の概要を掲出します。

学校法人聖マリア学院 令和5年度決算〔令和5年4月1日～令和6年3月31日〕

「貸借対照表」の概要			
貸借対照表		令和6年3月31日現在(単位:千円)	
資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	4,125,716	4,229,555	△ 103,839
流動資産	2,515,136	2,447,914	67,222
資産の部合計	6,640,853	6,677,469	△ 36,616
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	213,198	237,841	△ 24,643
流動負債	148,064	187,030	△ 38,965
負債の部合計	361,262	424,871	△ 63,609
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	6,275,060	6,267,546	7,513
第1号基本金	5,961,860	5,954,346	7,513
第2号基本金	140,000	140,000	0
第3号基本金	101,200	101,200	0
第4号基本金	72,000	72,000	0
繰越収支差額	4,530	△ 14,948	19,479
純資産の部合計	6,279,590	6,252,598	26,992
負債及び純資産の部合計	6,640,853	6,677,469	△ 36,616

「事業活動収支計算書」の概要				
事業活動収支計算書		(単位:千円)		
収入の部		支出の部		
科 目	決算額	科 目	決算額	
教育活動収入	953,285	教育活動支出	934,393	
教育活動外収入	7,046	教育活動外支出	0	
特別収入	1,584	特別支出	529	
		予備費	0	
事業活動収入計	961,916	事業活動支出計	934,923	
		基本金組入前当年度収支差額	26,992	
		基本金組入額合計	△ 7,513	
		当年度収支差額	19,479	
		前年度繰越収支差額	△ 14,948	
		基本金取崩額	0	
		翌年度繰越収支差額	4,530	

※作表上、端数調整箇所あり。 ※財務状況については、大学のホームページ(<https://www.st-mary.ac.jp/disclosure/>)でも公開中。

学校法人会計について

学校法人は、公益性をもった教育研究の実践主体として、学校の経営を行うことを、その目的としておりますので、一般企業のように営利を活動目的とする法人ではありません。よって、人材育成を含めた教育研究活動の成果を、社会に還元還元させる義務を負っています。

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準(文部科学省令)により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

■資金収支計算書

前年度繰越支払資金2,432,737千円を合わせた収入は、3,311,428千円となり、諸々の支出を差し引き、翌年度繰越支払資金として、2,464,141千円を計上いたしました。

■事業活動収支計算書

事業活動収入計が、961,916千円、事業活動支出計が、934,923千円となり、単年度の収支(基本金組入前当年度収支差額)として、26,992千円となりました。学校法人として、教育研究内容の将来的維持・充実に必要な資金を継続的に保持するための資金として、基本金7,513千円を計上し、結果、当年度収支差額として、19,479千円となりました。

■貸借対照表

資産の部は、前年度比36,616千円減の、6,640,853千円となりました。また、負債の部は、前年度比63,609千円減の、361,262千円となりました。その結果、純資産の部合計が前年度比26,992千円増の、6,279,590千円となっております。

「資金収支計算書」の概要				
資金収支計算書		(単位:千円)		
収入の部		支出の部		
科 目	決算額	科 目	決算額	
学生納付金収入	733,034	人件費支出	593,288	
手数料収入	7,777	教育研究経費支出	190,365	
寄付金収入	16,370	管理経費支出	64,566	
補助金収入	132,036	設備関係支出	7,063	
付随事業・収益事業収入	4,674	資産運用支出	0	
受取利息・配当金収入	7,046	その他の支出	33,628	
雑収入	58,733			
前受金収入	79,806	予備費	-----	
その他の収入	43,609			
資金収入調整勘定	△ 204,396	資金支出調整勘定	△ 41,625	
前年度繰越支払資金	2,432,737	翌年度繰越支払資金	2,464,141	
収入の部合計	3,311,428	支出の部合計	3,311,428	

寄付金の御礼【優遇税制のお知らせ】

皆様からのご支援、ありがとうございます

個人様（敬称略、順不同／在学生ご家族、同窓生、役員、教職員他）				
赤星由美子	浅野由美子	阿南良子	鮎川恵子	荒巻初子
有吉浩美	家入留美子	石井千代	石橋喜子	石本直子
石丸良恵	井手三郎	井手信	井原明美	井原伽奈子
今田登代子	入部久子	碓井知美	宇山由里子	浦美穂子
江口須賀子	江越美穂	大石利香	大楠綾子	大津山彩
大野千代美	大谷文女	小浜さつき	片山慶子	勝木志保子
加納由美	河上裕美	河口喜代美	川崎和子	河田淳子
川崎育子	川原洋子	川村千鶴	北川英治	木下まさみ
草野圭子	草柳美雪	櫛間睦子	神代明美	神代実穂
神代由利子	倉八ひとみ	栗山由美子	古賀ヒロミ	古賀由紀
古賀るみ子	後藤薫	小西逸代	近藤由紀	坂口由美
坂本由貴	佐野美和子	猿渡とも子	澤田美紀	重留万希子
志津志帆	柴戸美奈	柴崎祥子	柴田公子	下川一江
下川紀子	下宮タ香	城後鈴美	白土由美子	末吉良美
杉山秀彦	鈴木良子	駿河崎房子	世登亜貴奈	外本こずえ
高倉幸子	竹原明子	田崎美穂子	田中千恵美	田中道代
田中洋子	近末清美	尋木彦次	鶴田明美	東郷麻衣子
直井小百合	中川武子	中小田千鶴子	中島成子	中島千壽子
中島由希	長友奈央	中野秀子	中ノ森美知子	永松雄一郎
中村和代	中村京子	中山和道	西坂美佐	西村弘子
西山かおり	布村美江	野上幸子	野上裕子	野田利子
野田豊美	橋口ちどり	橋本ふさ代	橋本陽子	花田千秋
馬場絹代	馬場智子	濱崎佐智恵	浜崎みと子	原田加代子
原田芳枝	原楨しづか	日高艶子	平田和美	広下智絵
福永仁美	福元洋子	福山雅子	藤木万莉	本淨尋子
牧山幸二	前本武徳	松尾真美	松尾美香	松隈千代美
松原富士子	松村ひろの	松本昌子	溝口恵美	三河さやか
三苫香代子	蓑田ヒロミ	宮崎務	宮崎百合子	村岡健次
本松芳子	桃井雅子	守涼子	森山百合子	安岡智美
柳本朋子	山内しげ子	山岸寿子	山下美幸	山田佐恵美
山田牧子	山口智恵子	山口文子	矢野正子	湯川武
吉富久美子	龍聖子	涌井幸江	綿島悟子	渡邊千代子
令和2年度卒業生有志	同窓会有志			
他・匿名				

個人様からの寄付金受入れ総額
32,620,520円（2008.3～2024.12累計）

寄 付 金 に 関 す る ご 照 会 ・ お 申 込	聖マリア学院大学 募金事務局 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422 TEL 0942-35-7271(代表)
--------------------------------	---

聖マリア学院大学は地域社会を支える看護師、保健師、並びに助産師の育成を担う看護大学として、広く皆様方からのご支援を受けながら運営を行っています。これまで、本学における様々な節目事業等に際し、また、近年では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への経済的支援事業に際し、関係各方面からのお力添えをいただき、その浄財により、多くの看護学生が本学を巣立っていきました。

引き続き、皆様方のご支援をお願い申し上げますとともに、寄付者ご芳名を掲出させていただき、これまでのご厚情に対し改めて感謝の意を表する次第です。

なお、本学では、文部科学省より、寄付税制に関する一定条件を満たした大学として認定を受けておりますことから、個人や会社等法人が本学に行った寄付金について、税制上(所得税、法人税)の優遇措置の対象となります。詳細は本学の事務局へご照会下さい。

<2008年(平成20年)3月～2024年(令和6年)12月 寄付受入分>

法人様（敬称略、順不同／地場企業、関係諸機関・団体等）	
株式会社アド福岡	内山緑地建設株式会社
木下株式会社	株式会社九州AV
株式会社九州神陵文庫	株式会社九州総合ユニフォーム
九州ビルサービス株式会社	株式会社九電工
廣告社株式会社福岡支社	秀栄建設株式会社
新生ビルメンテナンス株式会社	株式会社スギヤマ
株式会社センターフォワード	第一警備保障株式会社久留米支社
株式会社筑邦銀行	中央印刷株式会社
戸田建設株式会社九州支店	株式会社トップサポートカンパニー
株式会社成田美装センター	株式会社西日本企画サービス
日商保険コンサルティング株式会社	橋本事務機株式会社
株式会社ヒルン	福岡医療関連協業組合
富士ゼロックス福岡株式会社	株式会社溝田
Red Flower	社会医療法人雪の聖母会(聖マリア病院)
他・匿名	

法人様からの寄付金受入れ総額
28,850,000円*（2008.3～2024.12累計）
※受配者指定寄付金として日本私立学校振興・共済事業団への一時預入分を含む。

1 教務課からの各種お知らせについて

在学生並びにご家族の方に対し、単位認定試験の結果（再試験対象となる科目の有無）、成績通知書等をお届けしております。学生の皆さんにとっては既に周知の内容もあるかと思いますが、ご家族の皆さまにとりましても、大学生活や学修に関する情報を共有するものとして活用いただければ幸いです。

3 大学での履修について

科目の履修に際しては、特定の科目については履修要件があることや（※）、上級学年に進級するための要件（進級要件）があること、卒業までに要する科目や単位数（卒業要件）が定められていることなど、予め知っておくべき重要な事項があります。これらは、年度始めに配布する「履修の手引き」に明記されていますので、学生の皆さんは、履修ガイダンスに参加することはもちろんですが、自ら履修に関する情報を収集し、把握するように努めることも必要です。また、カリキュラム改正等に伴い、履修に関する諸規程も改正となることがあります。入学年度によって適用する規程が異なることがありますので、不明な点が生じた場合は教務課へお尋ねください。

※主として、基盤臨床系科目や各論実習科目を履修するためには、各々の科目の履修要件（例：科目Bを履修するためには科目Aの試験に合格していることが必要）などを満たす必要があります。



在学生、並びにご家族のみなさまへ

2 「保健師」国家試験受験について （保健師コースの履修について）

本学では「選択制」となっております。保健師国家試験の受験資格を得るためには、看護学部卒業に必要な単位数に加え、3年次以降に開講される「公衆衛生看護学」に関する所定の科目の単位を修得する必要があります。保健師コース履修を希望する場合は、2年次後期に申込み手続きを行い、学内選考により履修者を決定します。なお、保健師コース履修には、課程履修費として、別途80,000円が必要になります。

4 本学の奨学金制度について

特待奨学金	金額：半期授業料及び半期実験実習費の合計、又は、半期授業料及び半期実験実習費の合計の半額 返還義務：なし 採用人数：若干名
子弟等奨学金	金額：入学金相当額の半額 返還義務：なし
緊急時奨学金	金額：当該学期の学納金相当額を上限 返還義務：なし 採用人数：若干名
雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリア奨学金	金額：年間の授業料相当額を上限 返還義務：卒業時に一括返還* 貸与期間：修業年間を上限 採用人数：若干名 ※聖マリア病院へ就職した場合は、給与より返還

詳細につきましては学生課までお問い合わせください。

☎0942-50-0222



看護学教育評価（看護学分野別評価） 「適合」認定

聖マリア学院大学（看護学部）は、日本看護学教育評価機構による「看護学教育評価」において「適合」認定を受けています。

【認定期間：2023.4.1～2030.3.31／更新制】



高等教育認証評価（大学機関別評価） 「適格」認定

聖マリア学院大学は、日本高等教育評価機構による「機関別認証評価」において「適格」認定を受けています。

【認定期間：2018.4～2025.3／2025年度に更新受審予定】

聖マリア学院大学の教育理念

聖マリア学院大学は、「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

聖マリア学院大学の教育の特色

- 「人間の尊厳・生命を尊重する倫理、生命倫理教育」による倫理的判断能力／専門職としてのケアリング／ヒューマンケアの実践能力の育成
- シスター・カリスト・ロイ博士提唱の「ロイ適応看護モデル」に基づく科学的思考と問題解決能力の育成
- 聖マリア病院とともに長年の国際保健医療協力に連携して実践している「国際看護学」の教育



聖マリア学院大学

St. Mary's College

聖マリア学院大学

検索



Facebook



Instagram



TikTok

